



## お知らせコーナー

### 会員異動

佐藤 智典 慶應義塾大学工学部応用化学科 助教授  
(2000年4月1日 東京工業大学生命理工学研究科より移動)  
電子メール: sato@aplc.keio.ac.jp

### 受賞

林 高史 (九大院・工)  
1st JPP Young Investigator Award in Porphyrin Chemistry (International Society of Porphyrins and Phthalocyanins)  
「Architecture of Molecular Recognition Systems by Use of Porphyrin Derivatives and Hemoproteins」  
1999年度有機合成化学奨励賞 (有機合成化学協会)  
「ポルフィリンをプローブとした分子認識系の構築と機能化への応用」

篠原 康雄 (徳島大・薬)  
平成12年度日本薬学会奨励賞  
「がん細胞の糖代謝を特異的に担うヘキソキナーゼの同定とその機能解析」

当麻 博文 (阪大院・薬)  
平成12年度日本薬学会奨励賞  
「超原子価ヨウ素試薬を用いる新規酸化反応の開発とその生物活性天然物合成への応用」

### 関連シンポジウム

生体機能関連化学部会 若手の会サマーセミナー  
主催 生体機能関連化学部会 若手の会  
協賛 日本化学会  
会期 8月9日(水)～11日(金)  
会場 KKR 名古屋三の丸 (名古屋市中区三の丸 1-5-1)  
〔交通〕名古屋空港よりバスで「名古屋駅行県庁前」下車徒歩10分、または名古屋駅市バスターミナル幹線20で「景雲橋東」下車徒歩5分  
参加申し込み締切 7月末日定員(100名)になり次第締切(定員に満たない場合は締切後も可能)  
参加費 一般 27,000円, 学生 22,000円

## 1. 招待講演 (10 件)

8/9

河合 靖 (京大化研)「単離酵素の特性を生かした不斉合成反応」

有賀克彦 (奈良先端大院・物質)「分子集合体による情報変換：化学刺激を生化学出力に、力学刺激を光学出力に。」

西田芳弘 (名大院・工)「C60 フラーレン」と甘いだけではない「糖」とのつながり」

8/10

八島栄次 (名大院・工)「らせん高分子の合成と機能発現」

浜地 格 (九大院・工)「タンパク質表面の分子エンジニアリング：機能変換の新技术」

石島秋彦 (名大院・工)「生体分子の 1 分子イメージング, ナノマニピュレーション」

岡本祐幸 (分子研)「タンパク質折り畳みの計算機シミュレーション」

8/11

浅沼浩之 (東大先端研)「遺伝子発現の光制御を目指した光応答性 DNA の設計」

松澤由希子 (豊橋技科大)「生体高分子の検出とマニピュレーション」

岡畑恵雄 (東工大院・生命理工)「水晶発振子上での DNA マニピュレーションの定量化」

## 2. 参加者によるポスターセッション

### 3. 懇親会

参加申込方法 名前(ふりがな、男女別), 所属・身分, 連絡先(住所・電話番号・FAX 番号・E-mail アドレス), ポスター発表するかどうかを明記して, FAX, 葉書あるいは E-mail で下記のところまでお申し込み下さい。

申込先 464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科 松浦和則

電話 052-789-2538 FAX052-789-2528 E-mail: matsura@mol.nagoya-u.ac.jp

## 第 18 回有機合成化学夏季大学

主催 有機合成化学協会, 同中国四国支部

共催 日本化学会中国四国支部, 日本薬学会中国四国支部

日時: 8月3日(木) 13:10~ 5日(土) 12:10 [ 2泊3日 ]

会場: 徳島グランドホテル偕楽園

- プログラム -

レクチャーシップ講演

「From Macrocycles to Responsive Molecules: Search for Smart Molecules」( Pohang University of Science and Technology ) B. H. Kim

「Some New and Some Improved Catalytic Methods for Organic Synthesis」( Massachusetts Institute of Technology ) S. L. Buchwald

特別講演

「C - F 結合の活性化: ジフルオロメチレン化合物の合成への展開」( 岡山大工 ) 宇根山健治

「立体選択的な 2,3,4,5-テトラヒドロ-1-ベンズアゼピン-5-酢酸誘導体の合成 バゾプレシニアゴニストの開発を目指して」( 大塚製薬 ) 小川英則

「環境にやさしいラジカル反応の開拓」( 京都大院工 ) 大島幸一郎

「有用合成法の開発とアミノ酸天然物の全合成」( 長崎大薬 ) 畑山 範

「ケトンのジアニオン種の発生と反応の制御」( 大阪府大総科 ) 柳 日馨

「アミノ酸生合成阻害剤の開発とその化学」( ノバルティス ファーマ ) 早川謙二

「オキシム類を用いる複素環化合物の合成」( 東京大院理 ) 奈良坂紘一

「極限反応場での有機合成 - 超高压で何が出来るか?」(高知大理)小槻日吉三  
「超原子価ヨウ素試薬を用いる新合成反応の開発とその応用」(大阪大院薬)北 泰行  
「エンジン系炭素ラジカル発生分子の化学」(徳島大薬)渋谷雅之

奨励賞受賞講演

「新規希土類錯体の合成と特異な反応性」(理研)侯 召民  
「エノラート型ケイ素アニオン化学種の生成と反応」(広島大工)大下浄治  
「カルボカチオンを用いた環形成法の開発」(北海道大院理)谷野圭持  
「ポルフィリンをプローブとする分子認識系の構築 - 低分子からヘムタンパク質まで」(九州大院工)林 高史  
「ルテニウム錯体触媒の特異的機能を活かした新規有機合成反応」(京都大院工)近藤輝幸  
詳細は「有機合成化学協会誌」4月号の会告をご覧ください。

連絡先

〒770-8505 徳島市庄町 1-78  
徳島大学薬学部薬化学教室 佐野茂樹  
E-mail: phchem@ph2.tokushima-u.ac.jp  
Tel: 088-633-7273、Fax: 088-633-9503

2nd Peptide Engineering Meeting(第2回ペプチド工学国際会議)/7th Naples Workshop on Bioactive Peptides (A Satellite Meeting of 26th European Peptide Symposium)

Anacapri, Naples, Italy; September 5-8, 2000

Chair: Prof. E. Benedetti (Univ. of Naples);

日本側: 三原久和(東工大); hmihara@bio.titech.ac.jp

プログラムほか詳細はホームページを参照下さい。

<http://challenge.dichi.unina.it:8000/capri2000/index.html>

2000 環太平洋国際化学会議 (PACIFICHEM2000)

2000年12月14日~19日、ホノルル、ハワイ

生命化学研究会関連シンポジウム

#46 Peptide Chemistry as Life Molecular Science

#72 Bio-inspired Molecular Recognition of Multinuclear Metal Centers

PACIFICHEM2000 ホームページ

<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/cs/j/learned-society/pacificchem.html>

第37回ペプチド討論会

日時 10月18日(水)~20日(金)

場所 愛知県勤労会館

主催 日本ペプチド学会

共催 日本薬学会・日本化学会・日本農芸化学会

詳細はホームページをご参照下さい。

<http://www.phar.nagoya-cu.ac.jp/gousei/peptide/index.html>